

第2回アラムナイ対象ウェビナーを開催しました。

9月に開催した第1回ウェビナーに引き続き、JICA（国際協力機構）との共催により、過去の研修参加者（アラムナイ）及び講師等を対象とした第2回目のウェビナーを実施しました。

日時：11月19日（木）午後7時から同日午後8時20分まで

テーマ：2019年度国際研修フォローアップと近時の刑事司法における課題（新型コロナウイルス感染拡大による影響と対策を含む）

本ウェビナーでは刑事司法制度の内、捜査・公判分野に焦点を置き、UNAFEIの二子石亮教官から日本の検察庁における新型コロナウイルス感染症対策に関する報告がなされたほか、2019年度に捜査・公判分野の研修に参加した以下のアラムナイから、研修成果の活用状況や自国の刑事司法制度の現状について報告がありました。

◆第172回国際研修参加者報告

フリオ・アルベルト・キャンピン氏（パナマ）

ミソーナバフ・コングマニー氏（ラオス）

◆第22回汚職防止刑事司法支援研修参加者報告

オレシア・ヴィクトリヴナ・マレニチ氏（ウクライナ）

マリアム・ガルスティアン氏（アルメニア）

当日は全世界から90名を超える参加者がオンラインで集い、発表者の報告に耳を傾けたほか、質疑応答では各発表者に多くの質問が寄せられ、活発な意見交換の場となりました。とりわけ、新型コロナ感染症への対応策について、参加者からの関心は高く、未曾有かつ共通の課題について知見を学び合う貴重な機会となりました。

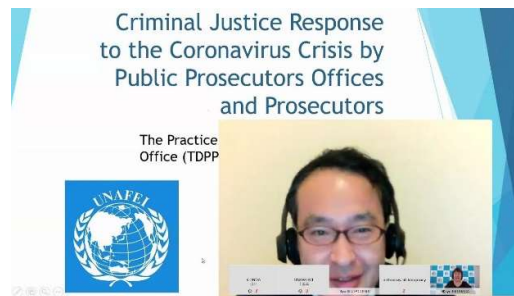
第1回目のウェビナー同様、フォーマルセッション終了後に行われたインフォーマル同窓会では、各参加者の顔が画面に映し出され、参加者が近況報告を行うとともに、それぞれの無事や再会を喜び合いました。時差や通信環境の差異がある中で、多くのアラムナイによる積極的な参加が得られ、ネットワークを充実させる機会となりました。



瀬戸所長



石原次長



二子石教官



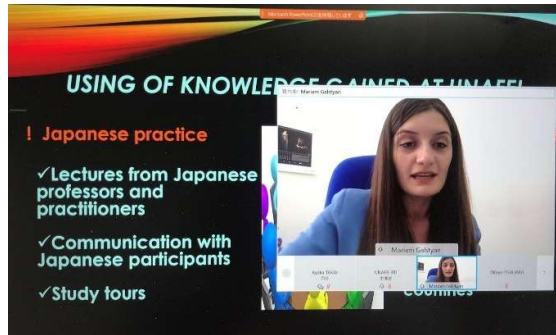
パナマからの研修参加者
(フリオ・アルベルト・キャンピン氏)



ラオスからの研修参加者
(ミソーナバフ・コングマニー氏)



ウクライナからの研修参加者
(オレシア・ヴィクトリヴナ・マレニチ氏)



アルメニアからの研修参加者
(マリアム・ガルスティアン氏)